

コメディカル 通信



ご存知 ですか？

臨床工学技士②

AED (自動体外式除細動器) を知っていますか？

AEDって何？

AEDとは、一般の人も使うことができる、命を救う器械(心臓救命装置)です。日本語で「自動体外式除細動器」といいます。

突然止まってしまった心臓の状態を戻すように試みる医療機器です。

器械が自動的に心臓の状態を診断し、必要であれば強い電流を流して心臓に電気ショックを与えます。

体の外から電気ショックを与えるので体外式と呼びます。



どんな時に使うの？

心臓が小刻みに震えた状態になる心室細動と呼ばれる不整脈のときのみ、AEDが電気ショックを与えます。

心臓が完全に止まった(微動もしない)状態では電流は流しません。

しかし、一般の人は見た目では判断することは不可能です。心臓が止まっているかどうかわからない、意識がない、呼吸していないなどの状態の時は、AEDを使うべきです。

電気ショックが必要な状態かどうかAEDが判断します。



誰でも使えるの？

AEDは初めての人でも簡単に使うことができます。

機種によって多少の違いはありますが、ボタンを押す、あるいはフタを開けるなどすると電源が入り、あとは音声ガイドが流れてきます。

初めての人でも使うことができますが、人が倒れたときなどは、なかなか冷静に動けないものです。消防署や講習会などで救命救急の方法を学ぶ、または訓練すると良いでしょう。



AEDは、話します。

使うと必ず助かるの？

AEDは胸に貼られた電極シールを通して、心臓の状態を自動診断し、心室細動と判断した場合だけ、電気ショックを与えます。

心室細動以外の不整脈や心停止、あるいは呼吸や意識などがある場合には電気ショックの指示を出しませんし、間違ってもボタンを押しても作動しません。ですから、助けることができるのは、心室細動を起こしている人だけです。電気ショックは心室細動であれば、どんなときでも成功するものではありません。もともと心臓が弱っている人の場合や、電気ショックを行うのが遅れたときなどは、使っても救命できないこともあります。

しかし、使わなければ助かる可能性はずっと低くなることもありますし、使った状態が悪化することはありません。できるだけ早く電気ショックを与えるのが良いとされています。

どうやって使うの？

簡単操作ガイド



①電源を入れる

機種によって異なりますが、
・ふたを開ける
・電源のボタンを押す
などで電源が入り、音声ガイドが流れはじめます。



②電極シールを胸に貼る

音声ガイドに従って、付属の袋を開け、電極シールを袋に描かれた位置にしっかり貼ります。貼るとAEDが診断を開始します。このとき体に触れてはいけません。



③電気ショックボタンを押す

AEDが電気ショックが必要と判断したら、ボタンを押すよう音声ガイドが流れます。周囲の安全を確認し、ボタンを押します。その後、音声ガイドに従って救命措置を行ってください。